



2007年3月期 第3四半期決算 説明資料

＜平成19年3月期 第3四半期＞

Operating results for the nine months period 31st December, 2006

株式会社 CSKホールディングス

CSK HOLDINGS CORPORATION

For The Next Stage.

目次 Contents

	Page
連結 業績サマリー Consolidated summary	2
連結 販売管理費・営業外損益の内訳 Consolidated sales & administration costs and non-operating income/expenses	3
連結 特別損益の内訳 Consolidated extraordinary gains & losses	4
連結 セグメント別業績 Consolidated operating results by segments	5
連結 情報サービス事業の業績 Consolidated operating results of information services	6
連結 金融サービス系事業分野の業績 Consolidated operating results of financial services, securities services and prepaid card sales	7
連結 貸借対照表 Consolidated balance sheets	9
連結 キャッシュ・フロー Consolidated cash flows	10
連結 通期業績予想 Consolidated earnings forecast for March, 2007	11

<CSKグループのロゴマークについて Logotype of CSK Group >

CSKグループは、平成17年10月1日、㈱CSKホールディングスを持株会社とする新たな経営体制へ移行し、これに伴い、CSKグループを表象するロゴマークを設定したものです。

ロゴマークは、「CSK GROUP」のロゴタイプと、カーブ状にデザイン化した「C」（CSKの頭文字）をスクランブルに配置した組合せにより構成されています。

内側（CSK GROUP）から外側（社会全体）に向かって放射されるパワーとダイナミズムを表現したデザインは、同時に「未来に向けた永続的な成長性」のシンボルでもあります。

このロゴに込められた「躍動感と連携」、「自由な創造性」は、いずれも「総合的なサービスプロバイダー」を目指すCSK GROUPの企業イメージを表象するものです。

CSK GROUP established its new logotype when its group management was reorganized under the control of its holding company CSK HOLDINGS CORPORATION on 1st October, 2005 with the vision of comprehensive service provider.

This new logotype consists of nameplate CSK GROUP and surrounding two "C", initial letter of CSK.

The design expresses power and dynamism which radiate from inside (CSK GROUP) toward outside (the whole society) and is a symbol of permanent development for the future.

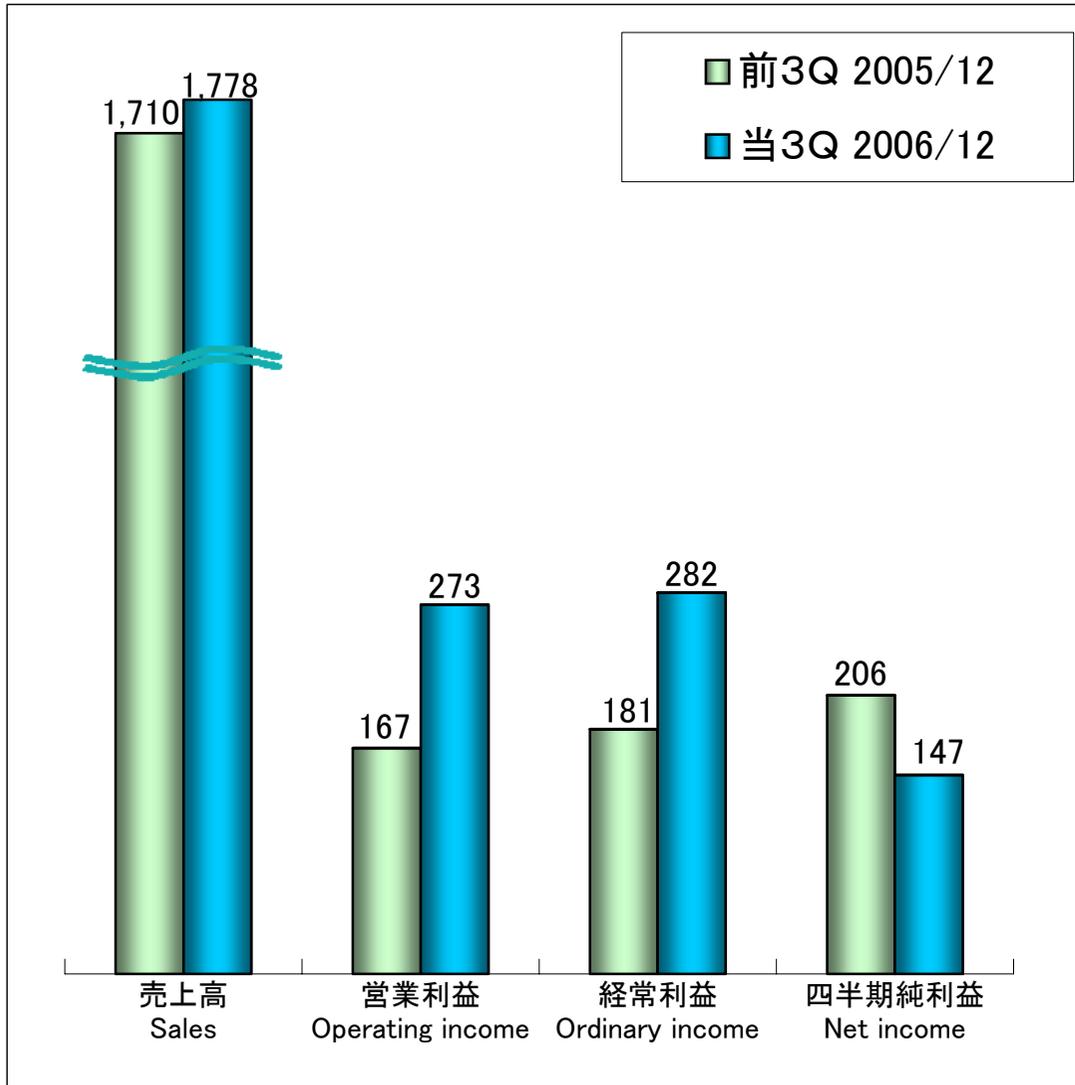
The logotype also implies the corporate culture of CSK GROUP, such as pulse, collaboration and creativity.

<免責事項 Disclaimer>

本資料は、当社グループの業績及びグループ事業戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社及び当社グループ会社の株式の購入や売却を勧誘するものではありません。本説明会及び資料の内容には、将来の業績に関する意見や予測等の情報を掲載することがありますが、これらの情報は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されております。よって、その実現・達成を約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。また、本資料の無断での複製、転送等を行わないようお願い致します。

This material is intended to provide information about the business performance and strategy of the CSK Group. It is not intended and should not be construed as an inducement to purchase or sell stock in CSK HOLDINGS CORPORATION (CSK) or CSK Group companies. Statements in this presentation and at the explanatory meeting that are not historical fact are forward-looking statements, based on the current beliefs, estimates and expectations of management. As these beliefs, estimates and expectations are subject to a number of risks, uncertainties, and assumptions, actual results may be materially different. CSK undertakes no obligation to update any forward-looking statements, and shall in no event be liable for any damages arising out of the use or interpretation of this material. Please refrain from copying, disseminating or distributing this material without the prior consent of CSK.

連結業績サマリー Consolidated summary



(単位: 億円/100millions of yen)

	前3Q 2005/12	当3Q 2006/12	前年同期比 Variance
売上高 Sales	1,710	1,778	67 4.0%
営業利益 Operating income	167 9.8%	273 15.4%	106 64.0%
経常利益 Ordinary income	181 10.6%	282 15.9%	101 55.7%
四半期純利益 Net income	206 12.1%	147 8.3%	△58 △28.5%

1株当たり利益 Earnings per share	円 277.03	円 200.24	円 △76.79
-------------------------------	-------------	-------------	-------------

<前年同期との比較サマリー>

売上高 : 前年同期比、増収

- 情報サービス事業は、ASP・コンタクトセンター・検証サービス・システム開発は順調に推移するが、機器販売の減少により1.0%の減少。
- 金融サービス・プリペイドカード事業は順調に推移し増収。

営業利益 : 前年同期比、64.0%の増益

- 情報サービス事業では、機器販売以外が好調に推移したこと、システム開発の収益性の向上、前3QのR&D案件の製品化に伴うR&D費用の減少等により、増益。
- 金融サービス事業は、投資案件の精算が進み、増益。

経常利益 : 前年同期比、55.7%の増益

- 営業利益段階までと同様の要因により、増益。

四半期純利益 : 前年同期比、減益

- 前3Qに大型の特別利益(投資有価証券売却益)があったこと等から、前年同期比58億円(28.5%)の減益。

連結 販売管理費・営業外損益の内訳

Consolidated sales & administration costs and non-operating income/expenses

(単位: 億円/100millions of yen)

販売管理費	前3Q 2005/12	当3Q 2006/12	前年同期比 Variance	増減要因 又は 内容説明 Reason or explanation of account
人件費	200.1	204.7	4.6	営業強化、スタッフ増員、サステナビリティ実現のための研究活動等
研究開発費	33.3	1.4	△31.8	前3Q: 新証券、医療関連等
広告宣伝費	10.3	13.1	2.8	販促活動に係る広告宣伝費用が増加
家賃	27.7	36.5	8.8	青山オフィス家賃等
その他	164.2	166.5	2.3	その他の主な内容: 通信費、支払手数料、募集費、地方税等
販売管理費計	435.7	422.4	△13.2	

< 営業外損益 >

営業外収益	前3Q 2005/12	当3Q 2006/12	前年同期比 Variance	増減要因 又は 内容説明 Reason or explanation of account
受取利息	0.9	1.9	0.9	
受取配当金	—	3.5	3.5	保有有価証券に係る配当金が増加。前3Qは、その他に含まれる(1.9億円)
持分法による投資利益	1.9	—	△1.9	前3Q: ネクストコムに係る持分法投資利益
カード退蔵益	6.7	7.1	0.3	プリペイドカードの未使用見込分に係るカード預り金取崩額
助成金収入	2.7	—	△2.7	グループ会社(地方展開会社)の助成金収入
その他	8.5	4.8	△3.6	その他の主な内容: 賃貸料収入、助成金収入等
営業外収益計	21.0	17.4	△3.5	
営業外費用	前3Q 2005/12	当3Q 2006/12	前年同期比 Variance	増減要因 又は 内容説明 Reason or explanation of account
支払利息	1.5	0.7	△0.7	金融サービス資産増加に伴い原価にて支払利息計上のため
退職給付引当金繰入額	1.9	1.9	0.0	会計基準変更時の償却額
証券代行手数料	1.4	1.1	△0.2	信託銀行への株式事務委託費用
転籍調整費用	—	1.5	1.5	転籍に伴う給与調整額
その他	1.6	3.4	1.8	その他の主な内容: 社債発行費、開業費等
営業外費用計	6.6	8.9	2.2	
営業外損益 Net	14.4	8.5	△5.8	

連結 特別損益の内訳

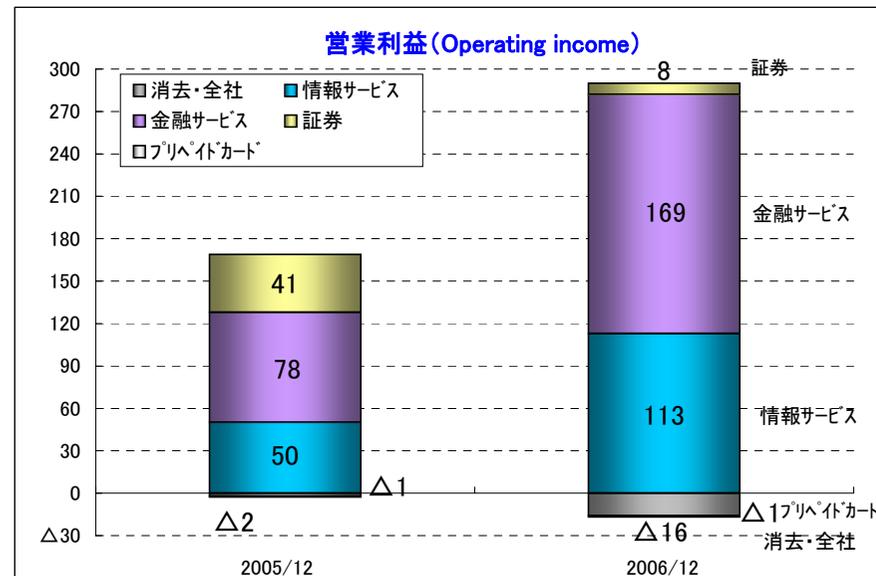
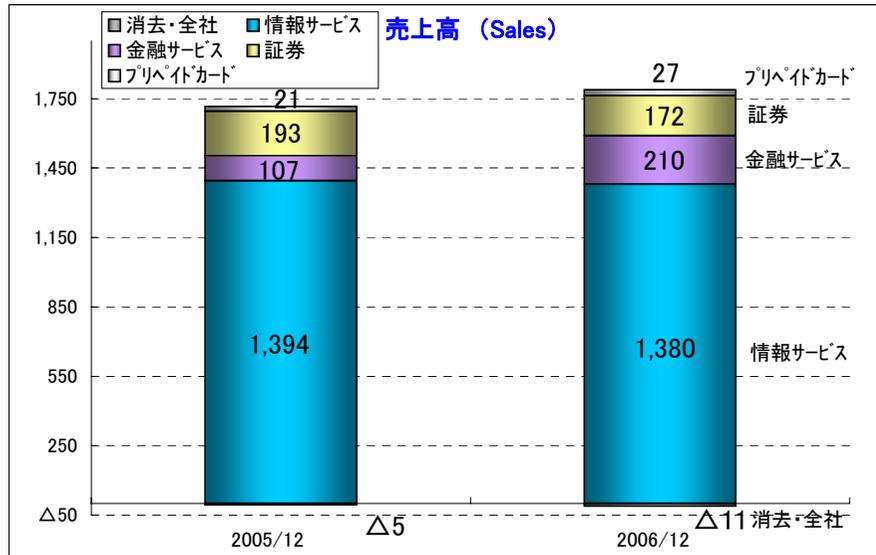
Consolidated extraordinary gains & losses

(単位: 億円/100millions of yen)

< 特別損益 >

特別利益	前3Q 2005/12	当3Q 2006/12	前年同期比 Variance	増減要因 又は 内容説明 Reason or explanation of account
固定資産売却益	—	2.0	2.0	保有不動産売却による売却益
投資有価証券売却益	214.1	—	△214.1	前3Q:ネクストコム株式の売却益
貸倒引当金戻入益	—	1.0	1.0	過年度の貸倒設定債権のうち、回収ができたものに係る利益
事業譲渡益	—	2.7	2.7	グループ会社における事業譲渡に係る利益
その他	1.7	1.3	△0.3	
特別利益 計	215.9	7.2	△208.6	
特別損失	前3Q 2005/12	当3Q 2006/12	前年同期比 Variance	増減要因 又は 内容説明 Reason or explanation of account
固定資産除却損	8.6	1.2	△7.4	前3Q:保有不動産売却に伴う除却
投資有価証券評価損	—	1.0	1.0	主にグループ会社が保有する投資有価証券の評価損
データセンター移転損失	12.9	—	△12.9	前3Q:データセンターの統合に伴う一時費用
システム開発解約損失	8.0	—	△8.0	前3Q:システム開発における解約損失
証券業に係る特別法上の準備金	3.3	1.8	△1.4	証券取引責任準備金及び金融先物取引責任準備金の繰入額
その他	6.9	1.4	△5.5	前3Q:減損損失 等
特別損失 計	39.9	5.5	△34.4	
特別損益 Net	175.9	1.7	△174.1	

連結 セグメント別業績 Consolidated operating result by segments



(単位: 億円/100millions of yen)

セグメント別業績 Operating result by segment

	前3Q 2005/12	当3Q 2006/12	前年同期比 Variance
情報サービス Information services			
売上高 Sales	1,394	1,380	△14
営業利益 Operating income	50	113	62
金融サービス Financial services			
売上高 Sales	107	210	103
営業利益 Operating income	78	169	90
証券 Securities services			
売上高 Sales	193	172	△20
営業利益 Operating income	41	8	△32
プリペイドカード Prepaid card sales			
売上高 Sales	21	27	5
営業利益 Operating income	△1	△1	0
消去及び全社 Elimination & Corporate			
売上高 Sales	△5	△11	△6
営業利益 Operating income	△2	△16	△14
合計 Total			
売上高 Sales	1,710	1,778	67
営業利益 Operating income	167	273	106

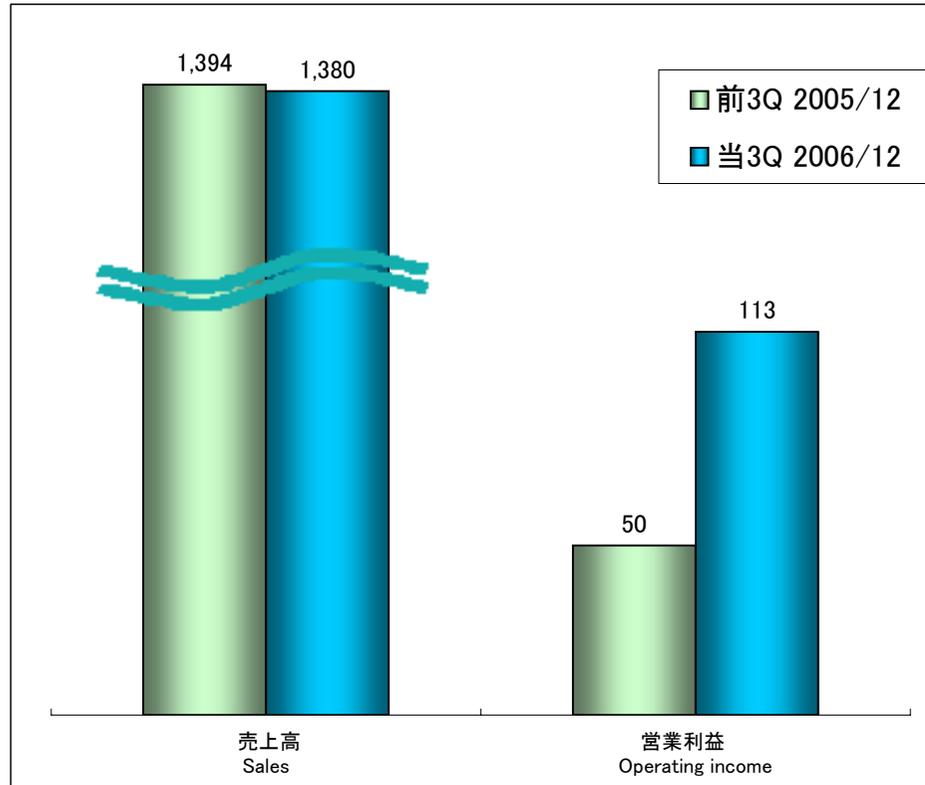
各セグメント別の主な会社一覧

情報サービス Information services	㈱CSKシステムズ、旧㈱CSK、㈱ジェー・アイ・イー・シー、旧日本フィットズ㈱、 ㈱CSKネットワークシステムズ、㈱ISAO、㈱CSKシステムマネジメント、㈱福岡CSK、㈱北海道CSK、 スーパーソフトウェア㈱、㈱CSK Winテクノロジー(旧 ㈱エイ・エス・ティ)、㈱CSTソリューションズ、 ㈱サービスウェア・コーポレーション、㈱CSKコミュニケーションズ、㈱福井CSK、 ㈱島根CSK、㈱岩手CSK、㈱大分CSK、㈱CSKマーケティング、㈱ペリサーブ、ビジネスエクステンション㈱、 CSKワールドサービス㈱、㈱ライワークス、㈱OSK証券サービス、㈱CSKビジネスサービス
金融サービス Financial services	CSKファイナンス㈱、CSKベンチャーキャピタル㈱、CSKプリンシパルズ㈱、ブラザースセットマネジメント㈱、 匿名組合20組合(23組合連結し、3組合期中で精算により除外)
証券 Securities services	コスモ証券㈱
プリペイドカード Prepaid card sales	㈱クオカード
消去及び全社 Elimination & Corporate	㈱CSKホールディングス、㈱CSK-IS

連結 情報サービス事業の業績

Consolidated operating results of information services

(単位: 億円/100millions of yen)



		前3Q 2005/12	当3Q 2006/12	前年同期比 Variance	
CSK-SYS ※1	売上高	876	867	△9	
	営業利益	36	71	34	
JIEC	売上高	91	102	11	
	営業利益	2	7	4	
SWC(連結)	売上高	144	152	7	
	営業利益	7	13	6	
CCO(連結)	売上高	40	45	5	
	営業利益	0	2	2	
VERI	売上高	34	50	16	
	営業利益	5	8	3	
CSK-SS	売上高	58	76	18	
	営業利益	11	13	2	
CSK-NET	売上高	73	66	△6	
	営業利益	4	4	0	
その他、連結消去 ※2 Others, Elimination	売上高	73	17	△56	
	営業利益	△16	△8	7	
情報サービス事業 Information services		売上高	1,394	1,380	△14
		営業利益	50	113	62

※1 当3Qとの業績比較のために、前3Qは以下の調整した数値を記載。

CSK-SYSの前3Q = “CSK-SYSの前3Q” + “旧CSK” + “旧JFITS” - “CSK-HD相当分”
(JFITSは、2005/10にCSK-SYSと合併したため、当3QはCSK-SYSに含まれている)

※2 その他の会社業績と連結消去の合算値を記載。

<情報サービス事業の概況>

- ①金融業界向けの売上が拡大。特に信託銀行や生保・損保におけるシステム統合・再構築案件が牽引。
- ②サービスプロバイダーへの事業転換や収益性の改善を目指し選別受注を推進。
- ③金融業界・出版業界向けのBPOが引き続き拡大。業務プロセスの改善により収益性が向上。
- ④デジタル家電や携帯電話などの製品開発拡大に伴い、組込ソフトウェアの検証ニーズが増加。
- ⑤顧客満足度向上や差別化の手段として、高品質なテクニカルサポートに対するニーズが増加。
- ⑥生産性向上に向けた取り組み、およびR&D費用の減少により、営業利益率は3.6%→8.2%に改善。

<当社グループの情報サービス事業の状況>

売上高：前年同期比、減収

証券業界向けの「ASP」、製造・通販・サービス・証券・カード業界向けの「テクニカルサポートやアウトバウンド型コンタクトセンター業務」、携帯電話・通信・デジタル家電分野向けの「検証サービス」、金融・保険、輸送用機器、機械、運輸・旅行業界にかかる「システム開発」等が順調に推移しましたが、機器販売のリプレース需要等の減少により、売上高合計では1.0%の減少。

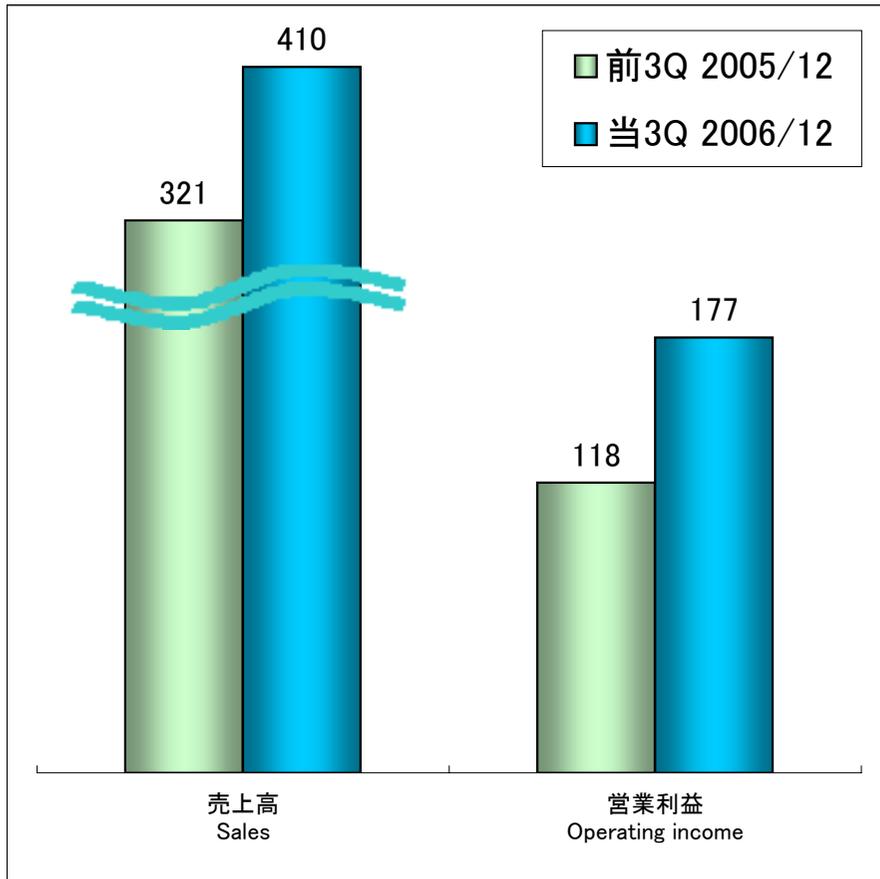
営業利益：前年同期比、大幅増益

機器販売以外が好調に推移したことに加え、システム開発の収益性向上、前3QにR&Dとして費用処理した案件の製品化(ソフトウェアとして資産計上)等に伴いR&D費用が減少したことから、前年同期比122.3%の増益。

連結 金融サービス系事業分野の業績(1)

Consolidated operating results of financial services, securities services and prepaid card sales

※金融サービス系事業分野 = 金融サービス事業、証券事業、プリペイドカード事業の3つを合わせた分野の総称



(単位: 億円/100millions of yen)

		前3Q 2005/12	当3Q 2006/12	前年同期比 Variance
金融サービス事業 Financial services	売上高	107	210	103
	営業利益	78	169	90
証券事業 Securities services	売上高	193	172	△20
	営業利益	41	8	△32
プリペイドカード事業 Prepaid card sales	売上高	21	27	5
	営業利益	△1	△1	0
金融サービス系事業分野		売上高	410	88
		営業利益	177	58

<金融サービス系事業分野の概況>

- ①金融サービス事業 : 経済環境の改善と並行して、マーケット環境は、引き続き好調に推移。景気拡大トレンドのなか、ベンチャー企業のIPOや増資も拡大傾向。
- ②証券事業 : 当3Qの国内株式相場は、5月下旬から8月末頃にかけて低水準に推移し、株式トレーディング・株式委託手数料が伸び悩みました。下期に入ってから、起伏がありながら概ね堅調に推移しており、当3Qは業績の持ち直しが進みました。
- ③プリペイドカード事業 : 企業における販促ツールとしての利用やギフト市場の拡大が見込まれること及び景況感の向上にともない、利用料の拡大が見込まれる。

<業績>

売上高 : 前年同期比、増収

→金融サービス事業は、投資案件回収が好調に推移、証券事業は前3Qが株式市場の急回復を受けて好調であったため減少、プリペイドカード事業は26.9%の増収。

営業利益 : 前年同期比、大幅増益

→金融サービス事業の案件の精算が順調に推移し、増益に貢献。

→証券事業は、減収に加え販促費用・人件費等の販管費が増加し、減益。

→プリペイドカード事業は、増収を背景に販促活動を強化したため、営業損益は前期並。

連結 金融サービス系事業分野の業績(2)

Consolidated operating results of financial services, securities service and prepaid card sales

金融サービス事業の投資残高と業績推移

(単位: 億円/100millions of yen)

Balance of investment and performance in financial service segments

通期 Full year			
	2005/3	2006/3	前期比 Variance
金融サービス 運用資産 (A)	※ 554	941	387
営業投資 有価証券(B)	※ 33	31	△1
資産合計 (C=A+B)	587	972	385
金融サービス 負債 (D)	-	-	-
資産・負債純額 (E=C-D)	587	972	385

第3四半期 3rd quarter		
2005/12	2006/12	前年同期比 Variance
808	1,222	414
34	26	△7
842	1,249	406
-	159	159
842	1,089	247

※ 2006/3の期首より事業目的の整理により科目振替を実施しているため、2005/3の相当部分を組替えております。

売上高	107	151	44
営業利益	70	106	36

107	210	103
78	169	90

連結 貸借対照表 Consolidated balance sheets

組合連結・新規投資等で増加

信用取引負債 △274億円
預り金受入保証金 △65億円 他

一年内償還予定社債
(固定から流動へ) +200億円
一年内長期借入金 △45億円
短期借入金 +151億円

(単位: 億円/100millions of yen)

	前期末 2006/3	当3Q末 2006/12	前期末比 Variance		前期末 2006/3	当3Q末 2006/12	前期末比 Variance
預託金 △128億円 信用取引資産 △321億円 他							
現預金	774	1,020	246	有利子負債(短期)	238	545	306
売掛金	360	246	△113	カード預り金	389	423	33
金融サービス資産 及び 営業投資有価証券	972	1,249	276	金融サービス負債	-	159	159
証券関連資産	1,806	1,471	△335	証券関連負債	1,480	1,202	△277
その他	486	730	244	その他	564	481	△83
流動資産 Current assets	4,401	4,719	318	流動負債 Current liabilities	2,673	2,812	139
有形固定資産	269	258	△10	有利子負債(長期)	680	830	150
無形固定資産	44	109	64	その他※2	43	50	7
投資その他の資産	715	736	21	固定負債 Fixed liabilities	723	880	157
投資有価証券	586	600	13	負債合計 Total liabilities	3,397	3,693	296
前払年金費用	32	33	0	株主資本	1,687	1,803	116
繰延税金資産	9	13	3	評価差額等	110	88	△22
その他	86	89	3	少数株主持分	236	239	3
固定資産 Fixed assets	1,029	1,104	75	純資産合計 Total net assets	2,034	2,131	97
資産合計 Total assets	5,431	5,824	393	負債純資産合計 Total liabilities and net assets	5,431	5,824	393

保有不動産の適正化の一環で売却

証券システム(ソフトウェア)の増加

自己資本比率 33.1% 32.5% △0.6%

※1 前期末については、従来の「資本」及び「少数株主持分」を、「純資産」に組替えて記載しております。
Shareholders' equity and minority interests at 2006/3 are rearranged to net assets.

※2 固定負債のその他には、証券事業にかかる特別法上の準備金を含む。
Statutory reserves in securities service are included.

未払法人税等 △30億円
買掛金 △34億円 他

連結 キャッシュ・フロー Consolidated cash flows

(単位: 億円/100millions of yen)

	前3Q 2005/12	当3Q 2006/12	前年同期比 Variance
営業キャッシュ・フロー Operating cash flows	△287	△84	202
投資キャッシュ・フロー Investing cash flows	13	△102	△115
財務キャッシュ・フロー Financial cash flows	△29	420	450
キャッシュ・フロー計 *1 Total cash flows *1	△302	235	538
現預金残高 *2 Cash & cash equivalents, at end *2	472	989	517

・主に、期間利益+金融サービス関連の投資回収増加+証券業関連の収入等

・前3Qに、ネクストコム株式の売却による収入があったため

・2006/7新株予約権付社債350億円の発行

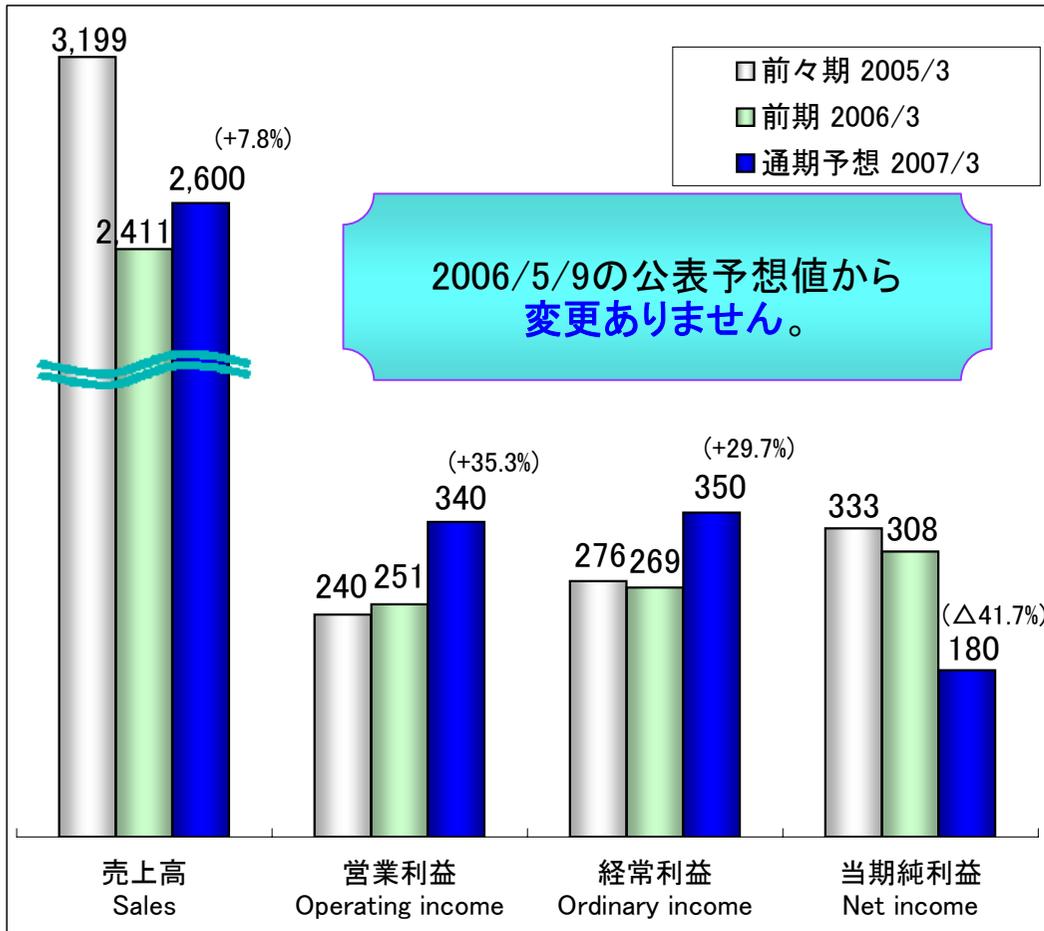
*1: 換算差額含む。 Including effect of exchange rate change.

*2: 連結範囲変動による増減含む。 Including effect of change in consolidation scope.

連結 通期業績予想

Consolidated earnings forecast for March, 2007

(単位: 億円/100millions of yen)



	前々期 2005/3	前期 2006/3	通期予想 2007/3 Forecast	増減額 Variance
売上高 Sales	3,199	2,411	2,600	188 7.8%
営業利益 Operating income	240 7.5%	251 10.4%	340 13.1%	88 35.3%
経常利益 Ordinary income	276 8.6%	269 11.2%	350 13.5%	80 29.7%
当期純利益 Net income	333 10.4%	308 12.8%	180 6.9%	△128 △41.7%

1株当たり利益 Earnings per Share	円	円	円	円
	437.31	410.52	243.15	△167.37

<2007/3期 連結通期業績予想について>

- 売上高
顧客企業のIT投資が活況に推移する見通しであることから、情報サービス事業が増収になる見通し。
- 営業利益及び経常利益
情報サービス事業は、BPO関連事業の拡大、収益性の向上が進むこと等から、大きく増益となる見通し。また、金融サービス事業が引き続き安定的に収益貢献し、営業利益全体では、35.3%の増益を見込む。経常利益も、営業増益に伴い29.7%の増益となる見通し。
- 当期純利益
前期には保有資産証券化による特別利益が含まれておりますが、当期は多額の特別利益は想定していないこと等の理由により、減益となる見通し。